

こうじ
工事の
げんば
現場より

旧矢筈原家住宅
保存修理事業

今はこんな様子だよ。

2月3週目



屋根葺替工事を行うにあたり作業台である足場を建設しました。ちょっと変わった形は、名付けて「半素屋根」。「素屋根」は建物を覆う工事用の仮設建築物で、通常建物全体を覆い隠してしまいましたが、これによって雨風が防げて内部が守られるため、どんな天候でも作業できるメリットがあります。しかし今回は覆うべき建物が大きすぎて、重機が使えず手作業のみで足場を組み立てるしかなかったため、全体を覆うことは出来ませんでした。とはいえ今後の作業が少しでも天候に左右されずに進めることが望ましいということで、鳶職人が工夫を凝らし、茅葺屋根の下半分に仮設屋根を掛ける形の「半素屋根」が出来上がりました。



素屋根の一例：亭樹屋根葺替（令和6年）



茅葺屋根の下半分ほどは、仮設の屋根に覆われる形になりました。これなら雨が降っても作業をすることができます。



素屋根の内部の様子；天候に左右されず作業を進められました。



足場によって屋根面近くまで登れるようになったことにより、屋根の様子をしっかりと確認できるようになりました。茅・板葺きとも劣化著しく、苔やカビ、草すら繁茂している状況が見て取れます。また木部各所も傷んでいる状況が散見されました。



過去の
お知らせは
こちら

